



愛知県教員育成指標【教諭】	指導力				マネジメント力			
	児童生徒理解	学習指導	生徒指導	多様性への支援と理解	学級経営・学年経営・学校運営	学校安全・危機管理	同僚との連携・協働	地域社会との連携・折衝
愛知県が求める 着任時の姿	○子どもの発達段階や成長に関わる基礎的な知識を身に付け、児童生徒理解の意義や重要性を理解し、一人一人に愛情をもち積極的に関わろうとする。	○学習指導要領を理解し、発問や板書、環境の構成などの基礎的な指導技術を身に付け、指導計画に従い、実践しようとする。	○生徒指導及びキャリア教育の意味を理解するとともに、個や集団を指導するための手だてを理解し、実践しようとする。	○人権感覚をもつとともに、児童生徒の個性を尊重し、個に応じた指導・支援をする必要性を認識している。 ○特別支援教育、外国人児童生徒教育など特別な支援を必要とする児童生徒に対する教育の基礎的な知識を身に付けている。	○理想とする児童生徒の姿や自分自身の姿をもち、その実現に向けて、実践しようとする。 ○学校教育の意義や教育に関する今日的な課題などの教育に関わる情報を積極的に得ようとしている。	○学校安全についての基礎的な知識を身に付け、児童生徒の回りの危険を察知し、回避したり、適切に対応したりしようとする。	○社会人として良識ある言動をし、円滑な人間関係をつくろうとする。	○教育公務員としての自覚をもち、社会とのつながりを意識して行動する。 ○家庭、地域、関係諸機関との連携の重要性を理解し、積極的に関わろうとする。
第1ステージ 教員としての基盤を固める	○児童生徒一人一人に愛情をもって接し、児童生徒との関係の中で、心情を捉える。 ○学級・学年への帰属意識を児童生徒に育成する姿勢をもつ。 ○家庭環境などの背景も踏まえて児童生徒を理解し、個々に応じた成長を促そうとする。	○適切な発問や読みやすい板書、意図的な環境の構成などの基本的な授業力を身に付け、児童生徒の主体的な学びを引き出す指導力を培うとともに、個に応じた指導を行おうとする。 ○児童生徒の実態を把握し、授業のねらいを明確にして教材教員の工夫をするなど、事前の教材研究の大切さを理解して授業をする。 ○他の教員から学ぶなど自分の指導を改善しようとする向上心をもつ。	○個性の伸長、社会的資質や行動力の向上などの「生き方教育」「キャリア教育」とも共通する視点をもって児童生徒に対応する。 ○児童生徒一人一人の課題を捉えるとともに、保護者の思いを理解し、保護者や他の教職員と協力しながら組織的・継続的に児童生徒に対応する。	○個の特性や背景を把握し、適切な指導及び必要な支援を行う。 ○必要に応じて個に応じた指導の計画を作成するとともに、合理的配慮に基づいた指導・支援を行う。 ○実践を通して、児童生徒の多様性への理解を深めるとともに、多様性を生かした教育活動を実践しようとする。	○学校教育目標を理解し、児童生徒の実態に合わせ、学級経営や教科経営の方針を立て、一貫性のある指導を行う。 ○学級内における良好な人間関係づくりを行う。 ○学年主任や他の教職員と協力しながら学年経営に参画する。 ○校内組織での自らの役割を自覚し、計画的に自らの職務を遂行する。	○児童生徒の安心安全を第一に考え、危険を予見するとともに対処する。 ○安全や教育効果に配慮した環境を整備し、課題について「報告・連絡・相談」を確実に行う。	○組織の一員として、求められている役割を理解し、同僚と協働的に物事を進めようとする。 ○他の教職員と積極的に関わり、疑問点や悩みを相談したり、共有したりしながら、自己改善をすすめる。	○家庭との情報共有に努めるなど、家庭との連携を図り、良好な関係を築く。 ○地域、関係諸機関と必要な連携をとったり、他の教職員の助言を受けたりしながら、適切に対処する。
愛知教育大学大学院 教育学研究科（教職大学院） ディプロマポリシー	理論と実践を往還させ、新たな学びをデザインすることができる力		広い視野を持ち、社会の変化に伴って生じる現代的な課題に柔軟に対応できる力		高度な専門性を有し、幅広い分野で指導性を発揮することができる力		組織の一員として協働関係を構築し、地域社会等との連携を円滑に進めるためのマネジメント力	
到達指標	○個に応じた支援の必要性を理解し、児童生徒を理解する方法を身に付けている。	○主体的な学びを引き出すために、児童生徒の実態把握の方法を理解し、教材・教具を工夫し授業づくりをする能力を身に付けている。	○キャリア教育の必要性を理解し、個性の伸長、社会的資源や行動力の向上等を促す方法を身に付けている。	○個の特性や背景を把握し適切な指導を行うことの必要性を理解し、多様性を生かした教育活動の方法を身に付けている。	○学級経営や教科経営等の方針の立て方を理解し、学級内の良好な人間関係のつくり方を身に付けている。	○安全や教育効果に配慮した環境整備の必要性を理解し、児童生徒の身の回りの危険を察知したり回避したりできる適切な対処法を身に付けている。	○組織として取り組むことの必要性を理解し、同僚と協働して物事を進めることのできる資質を身に付けている。	○家庭や地域社会と連携して進める教育効果を理解し、協働して児童生徒を育てようとする資質を身に付けている。
地域・教育課題重点コース				●		●	●	●
次世代の教育課題と地域創生								
多文化共生社会と日本語教育の課題								
外国人児童生徒への日本語教育の教材開発								
教科学習における日本語教育の実践								
外国人児童生徒への総合的発達支援								
保護者・地域の支援ネットワークの連携								
ユニバーサルデザインとICT：科学ものづくり教育			●					●
学校教育におけるEdTechの活用	●				●			●
ICTを活用した授業設計と教材開発								
創造性開発に向けた科学・ものづくり教育	●							
STEM人材育成のための科学・ものづくり教育					●			
附属学校教員専任科目								
公開授業のための教材研究・授業研究A								
公開授業のための教材研究・授業研究B								
公開授業のための教材研究・授業研究C								
教育実習指導の理論と実践								
実践研究省察科目								
課題実践研究Ⅰ	●	●	●	●				
課題実践研究Ⅱ	●	●	●	●				
課題実践研究Ⅲ	●	●	●	●				
課題実践研究Ⅳ	●	●	●	●				
実習科目（現職教員向け）								
課題実践実習	●	●	●	●				
課題実践実習A	●	●	●	●	●			●
課題実践実習B	●	●	●	●	●			●
課題実践実習C	●	●	●	●	●			●
特別支援教育課題実践実習	●	●	●	●				
特別支援教育課題実践実習A	●	●	●	●	●			●
特別支援教育課題実践実習B	●	●	●	●	●			●
特別支援教育課題実践実習C	●	●	●	●	●			●
実習科目（直進学生向け）								
教師力向上基礎実習	●	●	●	●				
教師力向上実習Ⅰ	●	●	●	●				
教師力向上実習Ⅱ	●	●	●	●	●			●
教師力向上実習Ⅲ	●	●	●	●	●			●
特別支援教育教師力向上基礎実習	●	●	●	●	●			●
特別支援教育教師力向上実習Ⅰ	●	●	●	●	●			●
特別支援教育教師力向上実習Ⅱ	●	●	●	●	●			●
特別支援教育教師力向上実習Ⅲ	●	●	●	●	●			●

